

新冠町長当選証書付与式 小竹町長3期目スタート

4月23日、新冠町役場で新冠町長当選証書付与式が行われ、3回目の当選を果たした現職の小竹町長に梶浦ひろ子新冠町選挙管理委員会委員より、当選証書が授与されました。

小竹町長は、平成17年に岡前町長の後任とし無投票で初当選以来、平成19年度の定住・移住促進事業にはじまり、平成20年度の小学校統合に伴う校舎の売却、平成23年度の認定こども園の開園、平成24年度の肥育センターの開設や日高食肉センターの誘致など、様々な施策を実施してきました。

3期目となる今回は、津波対策としての公共施設整備計画の策定や産業の6次化の促進、定住・移住対策の更なる推進を進めることで「元氣と笑顔あふれるふるさとづくり」を目指してまいります。



らくらくにいかつぷ 移動販売開始

4月9日、高齢者買い物支援「らくらくにいかつぷ」が、新たに移動販売冷蔵車を導入し、従来の宅配事業に加え、移動販売を開始しました。

「らくらくにいかつぷ」は会員制で、高齢者や障がい者の方が、街まで買い物に行かなくても、電話一本で商品を自宅まで届けるという事業です。今回の移動販売車購入にもない



車体には、西泊津在住の古川昌広さんのイラストが描かれています。イラストは、新冠らしく音符や馬が描かれています。

まちの話題 あれこれ

故和田豊美さんに 旭日単光章

平成25年1月に亡くなられた和田豊美さんに旭日単光章が贈られ、4月11日、小竹町長より奥様の二二子さんに勲記と勲章が伝達されました。

和田さんは昭和62年に新冠町議会議員に当選以来、連続3期12年の永きにわたり在職し、町の振興発展に多大な貢献をされました。

在職中は、公平かつ冷静な判断と地方自治に対する深い見識により、多面にわたる地方自治の振興にご尽力されました。



これらの功績が認められ、今回の叙勲となりました。

苦小牧信用金庫より多額の寄附

4月3日、苦小牧信用金庫（金沢俊一理事長）より町に対し200万円の寄附がありました。

同信金は、今年創立65年を迎えたことを記念し、同信金を指定金融機関として日胆地区の町に対し寄附を行ったものです。

この寄附金は、同信金の意向により、地域振興のために使われます。



静内衛生社より車いす寄贈

4月4日、静内衛生社（榎本淳一社長）より町に対し車いす10台が寄贈されました。

同社は、今年創業60年を迎えたことを記念し、町に対し車いすの寄贈を行ったものです。

寄贈された車いすは、役場、社会福祉協議会、老人ホーム、温泉などに配置し、使わせていただきます。



宅地分譲地予約受付開始

4月27日、レ・コードの森スウィートタウン分譲地の現地見学会と予約申込受付が開始されました。

同分譲地は、町の定住・移住促進事業の一貫で21区画造成されたものです。

第1次の予約締切は5月11日10時で、同日11時より申込多数区画の抽選会が行われる予定となっています。



建設協会による町道清掃実施

4月5日、新冠建設協会（正木省司会長）による町内道路のボランティア清掃が行われました。

この日は、朝早くから73名の会員の皆さんが担当地区（市街地・節婦町・朝日・太陽など）に向き、道路脇にたまった砂などの清掃を行ってくれました。建設協会の皆さん、ありがとうございました。



元五輪選手が柔道指導



4月23日、新冠町柔道スポーツ少年団に、世界選手権2連覇や1988年のソウルオリンピックに出場した経歴を持つ須貝等さんが指導に訪れました。

須貝さんの指導は、受け身から始まり、立ち技の掛け方、寝技や締め技のコツなど、自身の経験で学んだことを子どもたちに、手取り足取り教えていました。

ド・レ・ミに多くの鯉のぼり泳ぐ



4月22日、新冠町商工会青年部（梶浦税部長・会員24名）の皆さんにより、認定こども園ド・レ・ミ敷地に36匹の鯉のぼりが設置されました。

この鯉のぼりは、町民の皆さんに寄付していただいたもので、昨年は新冠温泉に設置されていました。鯉のぼりを見て子どもたちは大喜びでした。